

平成 30 年 7 月豪雨に関する 横浜市の被災地支援の対応状況について

倉敷市への「災害廃棄物収集運搬作業」が昨日終了し、現時点において、横浜市から「平成 30 年 7 月豪雨」被災地への支援はすべて終了しました。

つきましては、横浜市の平成 30 年 7 月豪雨の被災地支援の対応状況について取りまとめましたので、お知らせします。

1 横浜市の被災地支援の対応状況について

(1) 人的支援：合計 377 名

支援の内訳は、別紙資料のとおり

(2) その他支援

ア 募金の実施

市民の皆様からの募金を実施するため、7 月 13 日（金）から 8 月 13 日（月）まで、市役所、各区役所及び行政サービスコーナー等に募金箱を設置し、振込用の専用口座も開設しました。

「横浜市 平成 30 年 7 月豪雨災害募金」の集計結果 募金額 16,302,544 円 ※全額を日本赤十字社の義援金受入口座へ送金しました。
--

イ 見舞金の贈呈

横浜市からの見舞金として、広島市、岡山市、広島県、岡山県、愛媛県に各 100 万円、北九州市に 50 万円お渡ししました。

ウ 横浜市会からの義援金

横浜市会からの義援金として、広島市及び岡山市に 86 万円をお渡ししました。

2 横浜市応援連絡体制について

横浜市防災計画に定める「被災自治体への応援派遣の必要性がなくなった場合（※）」に該当するため、「横浜市災害応援対策本部」体制を、本日 8 時 30 分「横浜市応援連絡体制」に移行しました。

なお、平成 30 年北海道胆振東部地震への支援について、今のところ、横浜市に対し応援職員派遣要請はありません。

※横浜市防災計画「震災対策編」第 7 部第 1 章第 3 節を「風水害等対策編」に準用し、適用。

お問合せ先		
総務局危機管理課長	湊 卓史	Tel 045-671-2062